

2016/4～2016/6

にっしん景況レポート

Vol.

1

2016/7 ISSUE



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、平成28年4～6月の景気の現状と平成28年7～9月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 平成28年4～6月の実績(6月については予想)
平成28年7～9月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の357社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 平成28年4～6月
前期 = 平成28年1～3月
前年同期 = 平成27年4～6月
来期 = 平成28年7～9月

6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	151	48	22	18	24	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	151	23	23	17	39	26	23
業種合計	357	88	56	41	71	54	47



日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

● 今期の景況

今期（平成28年4～6月）の全業種における業況判断D.I.は▲2.2となった。

収益面では、前期（平成28年1～3月）と比した今期の売上額判断D.I.は3.4となり、前年同期（平成27年4～6月）と比した今期の売上額判断D.I.は4.5となった。前期と比した今期の収益判断D.I.は▲2.0となったが、前年同期と比した今期の収益判断D.I.は3.1となった。

販売価格判断D.I.は前期と比して1.1、仕入価格判断D.I.は前期と比して19.2と「上昇」と回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は▲1.7と資金繰りを「苦」と感じている企業の割合が「楽」と感じている企業を上回る結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲27.2、見通しも▲31.6と非常に低いD.I.となっており、人手不足感が強い状況となっている。

地区別の業況判断D.I.は、明石地区が▲6.0、三木地区が▲3.6、神戸地区が2.0であった。明石地区では、建設業が15.8と最も高く、小売業が▲27.8と最も低かった。三木地区では、不動産業が25.0と最も高く、サービス業が▲37.5と最も低かった。神戸地区では、建設業が23.1と最も高く、小売業が▲23.5と最も低かった。建設業、不動産業は明石、三木、神戸のいずれの地区でも業況判断はプラスとなり、小売業、サービス業はいずれの地区でも業況判断はマイナスとなった。

● 来期の見通し

来期（平成28年7～9月）の予想業況判断D.I.は1.4と今期の実績▲2.2からプラスに転じて、3.6ポイントの改善見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は18.3、収益の予想判断D.I.は13.2となり、いずれも大幅に改善する見通しとなっている。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	23	59	184	76	14	356
回答割合	6.5%	16.6%	51.7%	21.3%	3.9%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 23.03\% - 25.27\% \div \mathbf{\blacktriangle 2.2}$$

〈全業種総合主要D.I.〉

	平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)		平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)
業況(実績)	▲2.2	1.4	販売価格(前期比)	1.1	5.9
売上額(前期比)	3.4	18.3	仕入価格(前期比)	19.2	19.5
売上額(前年同期比)	4.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.7	0.0
収益(前期比)	▲2.0	13.2	人手不足(過剰-不足)	▲27.2	▲31.6
収益(前年同期比)	3.1	—			

〈平成28年4～6月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲6.0	▲4.2	▲9.5	▲27.8	▲20.8	15.8	10.0
三木地区	▲3.6	17.6	▲18.2	▲33.3	▲37.5	11.1	25.0
神戸地区	2.0	▲8.7	13.0	▲23.5	▲5.1	23.1	8.7
全地区	▲2.2	▲1.1	▲1.8	▲26.8	▲14.1	18.5	10.6

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲1.1となった。

収益面では、前期と比した今期の売上額判断D.I.は▲9.1となったが、前年同期と比した今期の売上額判断D.I.は1.1となった。また、前期と比した今期の収益判断D.I.は▲12.5となったが、前年同期と比した今期の収益判断D.I.は4.5となった。

販売価格判断D.I.は前期と比して12.6、仕入価格判断D.I.は前期と比して11.5となり、販売価格は「下降」と回答した企業の割合が多く、仕入価格は「上昇」と回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は4.5となり、資金繰りは「楽」と回答した企業の割合が多かった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲17.0となり、人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想判断状況D.I.は▲2.3と今期の実績▲1.1からさらに低下する見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は9.2、収益の予想判断D.I.は1.1となり、いずれも今期実績のマイナスからプラスに転じる見通しとなっている。

〈 製造業主要D.I. 〉

	平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)		平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)
業況(実績)	▲1.1	▲2.3	販売価格(前期比)	▲12.6	▲4.6
売上額(前期比)	▲9.1	9.2	仕入価格(前期比)	11.5	16.1
売上額(前年同期比)	1.1	—	資金繰り(楽-苦)	4.5	0.0
収益(前期比)	▲12.5	1.1	人手不足(過剰-不足)	▲17.0	▲21.6
収益(前年同期比)	4.5	—			

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲1.8となった。

収益面では、前期と比した今期の売上額判断D.I.は26.8、前年同期と比した今期の売上額判断D.I.は10.7となった。また、前期と比した今期の収益判断D.I.は16.1、前年同期と比した今期の収益判断D.I.は8.9となった。

販売価格判断D.I.は前期と比して0.7、仕入価格判断D.I.は前期と比して14.3となり、いずれも「上昇」と回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は▲9.1となり、資金繰りは「苦」と回答した企業の割合が多かった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲21.4となり、人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想判断状況D.I.は▲7.4と今期の実績▲1.8からさらに低下する見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は16.1、収益の予想判断D.I.は14.3となり、プラスを維持するものの、いずれも今期実績から低下する見通しとなっている。

〈 卸売業主要D.I. 〉

	平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)		平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)
業況(実績)	▲1.8	▲7.4	販売価格(前期比)	10.7	12.5
売上額(前期比)	26.8	16.1	仕入価格(前期比)	14.3	25.0
売上額(前年同期比)	10.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲9.1	▲7.3
収益(前期比)	16.1	14.3	人手不足(過剰-不足)	▲21.4	▲23.6
収益(前年同期比)	8.9	—			

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲26.8と大幅なマイナスとなった。

収益面では、前期と比した今期の売上額判断D.I.は▲4.9、前年同期と比した今期の売上額判断D.I.は▲4.9となった。また、前期と比した今期の収益判断D.I.は▲7.3、前年同期と比した今期の収益判断D.I.も▲7.3となり、全てマイナスとなった。

販売価格判断D.I.は前期と比して7.3、仕入価格判断D.I.は前期と比して24.4となり、仕入価格の方が販売価格よりも「上昇」と回答した企業が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は▲24.4となり、資金繰りは「苦」と回答した企業が「楽」と回答した企業を大きく上回った。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲26.8となり、人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想判断状況D.I.は▲9.8とマイナス水準にあるものの、今期の実績▲26.8から17.0ポイントの改善見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は22.0、収益の予想判断D.I.は24.4となり、いずれもマイナスからプラスに転じ、大幅に改善する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)		平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)
業況(実績)	▲26.8	▲9.8	販売価格(前期比)	7.3	12.2
売上額(前期比)	▲4.9	22.0	仕入価格(前期比)	24.4	22.0
売上額(前年同期比)	▲4.9	—	資金繰り(楽-苦)	▲24.4	▲7.3
収益(前期比)	▲7.3	24.4	人手不足(過剰-不足)	▲26.8	▲35.0
収益(前年同期比)	▲7.3	—			

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲14.1となった。

収益面では、前期と比した今期の売上額判断D.I.は▲2.8となったが、前年同期と比した今期の売上額判断D.I.は15.5となった。また、前期と比した今期の収益判断D.I.は▲8.5となったが、前年同期と比した今期の収益判断D.I.は9.9となった。

販売価格判断D.I.は前期と比して4.2、仕入価格判断D.I.は前期と比して12.9となり、いずれも「上昇」と回答した企業の割合が多かった。

資金繰り判断D.I.は▲1.4となり、資金繰りは「苦」と回答した企業の割合が多かった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲47.9となり、人手不足感が極端に強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想判断状況D.I.は▲7.0とマイナスの水準にあるものの、今期の実績▲14.1から7.1ポイントの改善見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は32.4、収益の予想判断D.I.は26.8となり、いずれもマイナスからプラスに転じ、大幅に改善する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)		平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)
業況(実績)	▲14.1	▲7.0	販売価格(前期比)	4.2	1.4
売上額(前期比)	▲2.8	32.4	仕入価格(前期比)	12.9	8.6
売上額(前年同期比)	15.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.4	1.4
収益(前期比)	▲8.5	26.8	人手不足(過剰-不足)	▲47.9	▲50.7
収益(前年同期比)	9.9	—			

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は18.5となった。

収益面では、前期と比した今期の売上額判断D.I.は11.1となったが、前年同期と比した今期の売上額判断D.I.は▲7.4となった。また、前期と比した今期の収益判断D.I.は3.7となったが、前年同期と比した今期の収益判断D.I.は▲13.0となった。

販売価格判断D.I.は前期と比して0.0、仕入価格判断D.I.は前期と比して29.6となり、仕入価格が「上昇」と回答した企業が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は1.9となり、資金繰りは「楽」と回答した企業の割合が多かった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲27.8となり、人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想判断状況D.I.は24.1と今期の実績18.5からさらに5.6ポイント改善する見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は18.5、収益の予想判断D.I.は9.3となり、いずれも今期実績からさらに改善する見通しとなっている。

〈建設業主要D.I.〉

	平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)		平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)
業況(実績)	18.5	24.1	販売価格(前期比)	0.0	9.6
売上額(前期比)	11.1	18.5	仕入価格(前期比)	29.6	25.9
売上額(前年同期比)	▲7.4	—	資金繰り(楽-苦)	1.9	0.0
収益(前期比)	3.7	9.3	人手不足(過剰-不足)	▲27.8	▲35.2
収益(前年同期比)	▲13.0	—			

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は10.6となった。

収益面では、前期と比した今期の売上額判断D.I.は6.4、前年同期と比した今期の売上額判断D.I.は8.5となった。また、前期と比した今期の収益判断D.I.は4.3、前年同期と比した今期の収益判断D.I.は10.6となった。

販売価格判断D.I.は前期と比して6.4、仕入価格判断D.I.は前期と比して32.6となり、仕入価格が大きく「上昇」と回答した企業が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は10.6となり、資金繰りは「楽」と回答した企業の割合が多かった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲21.7となり、人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想判断状況D.I.は14.9と今期の実績10.6からさらに4.3ポイント改善する見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は12.8、収益の予想判断D.I.は8.5となり、いずれも今期実績からさらに改善する見通しとなっている。

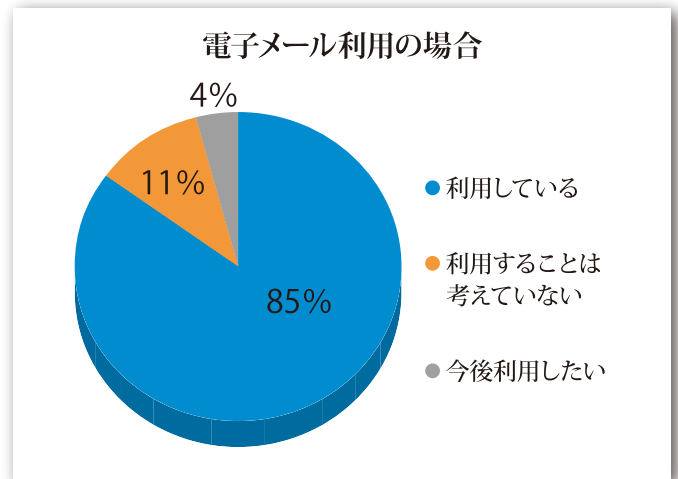
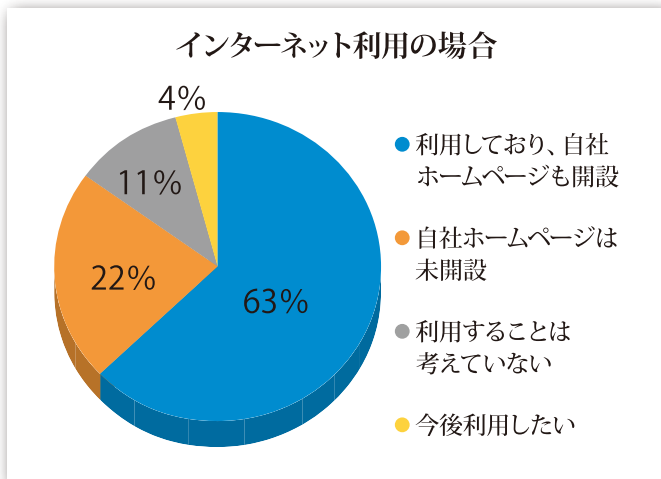
〈不動産業主要D.I.〉

	平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)		平成28年 4-6月期 (実績)	平成28年 7-9月期 (見通し)
業況(実績)	10.6	14.9	販売価格(前期比)	6.4	14.9
売上額(前期比)	6.4	12.8	仕入価格(前期比)	32.6	26.1
売上額(前年同期比)	8.5	—	資金繰り(楽-苦)	10.6	12.8
収益(前期比)	4.3	8.5	人手不足(過剰-不足)	▲21.7	▲23.9
収益(前年同期比)	10.6	—			

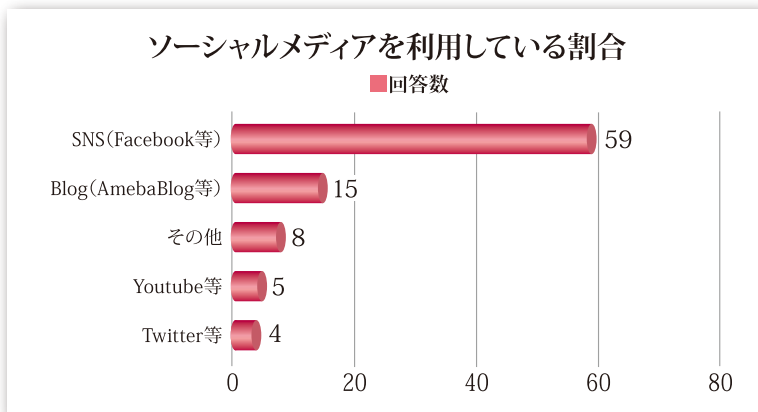
● インターネットの利用について

事業において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用しているかどうかの質問を行ったところ、85%の企業が何らかの方法でインターネットを利用しており、63%の企業は自社ホームページを開設しているとの結果となった。インターネットを利用することを考えていないと回答した企業は11%であり、残る4%の企業は今後利用したいとの回答であった。

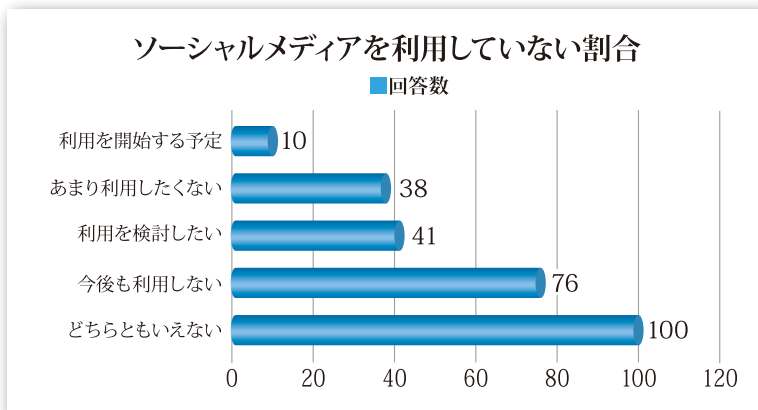
また、電子メールの利用については、85%の企業が利用しているとの回答となり、利用を考えていないと回答したのは11%、今後利用したいと回答したのは4%という結果となった。



● ソーシャルメディアの利用について



事業上の情報収集・発信において、ソーシャルメディアを利用しているかどうかの質問を行ったところ、357社中91社が利用しているとの回答であった。利用している媒体は「SNS(フェイスブックなど)」が59社、「ブログ(アメーバブログなど)」が15社という結果であった。



利用していないと回答した265社のうち、「利用を検討したい」あるいは「利用を開始する予定」と回答した事業者は51社であり、「今後も利用しない」「あまり利用したくない」と回答した事業者は114社であった。

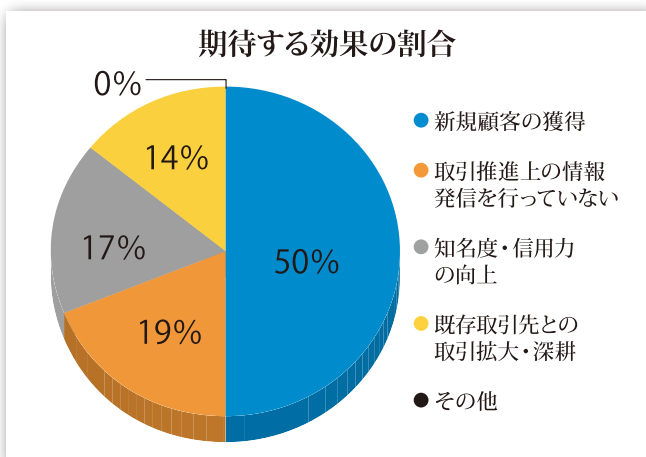
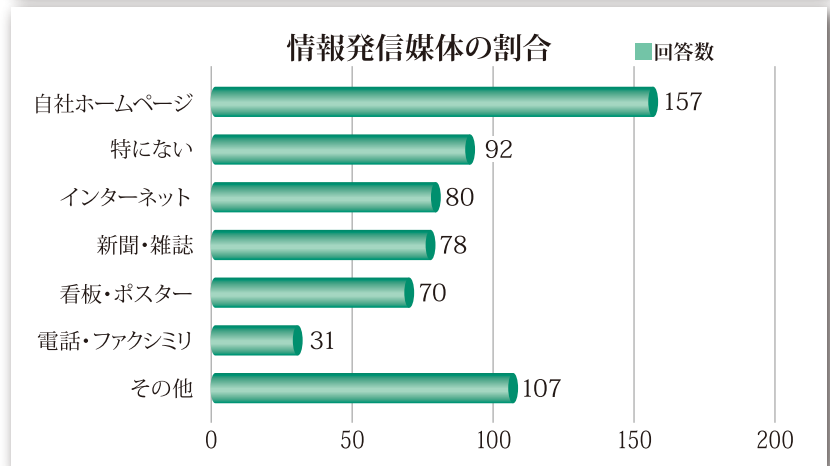
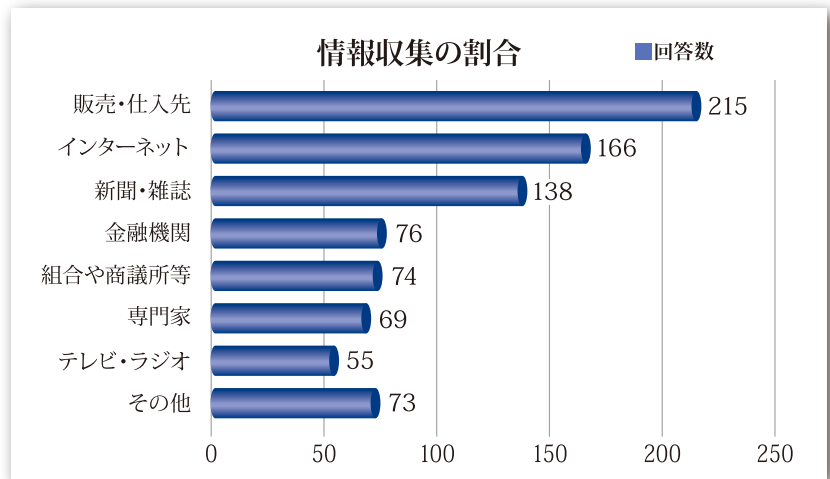
100社については、「どちらともいえない」との回答となり、ソーシャルメディアの利用について最も多い回答となった。

ソーシャルメディアの利用は、運用する人材の不足や心理的なハードルの高さが課題であるといわれているが、今回の調査結果でも、事業上の情報収集・発信ツールとしてはあまり利用されていない結果となった。

● 情報収集、情報発信に関して……

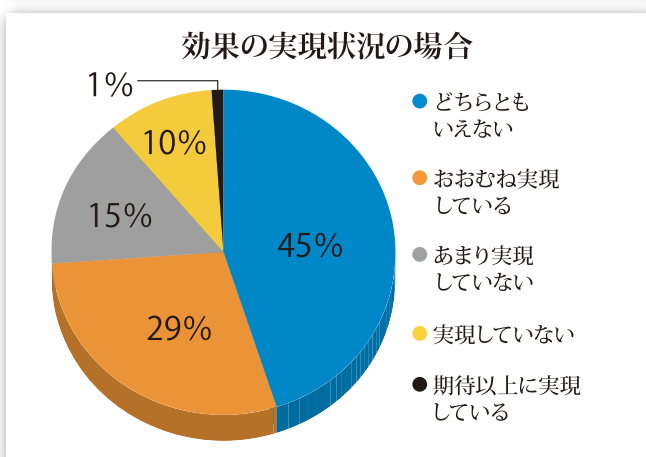
事業展開上の情報収集において、どのような媒体や機関を活用しているかの質問では、「販売・仕入先」といった人的付き合いのある先からの情報収集が最も多い回答となった。次いで「インターネット」、「新聞・雑誌」といった情報媒体からという結果となり、「金融機関」、「組合や商議会所」、「専門家」からという回答を上回る結果となった。

取引推進上、どのような情報発信媒体を活用しているかの質問では、「自社ホームページ」での情報発信が最も多い回答となった。情報発信については、「その他」、「特にない」という回答が次いで多くなっており、情報収集に比して情報発信については、消極的な回答が多い結果となった。



● 情報発信媒体の効果……

取引推進上、活用している情報発信媒体には、主にどのような効果を期待しているかの質問では、「新規顧客の獲得」が50%と半数となる結果となった。次いで「知名度・信用力の向上」、「既存取引先との取引拡大・深耕」といった回答が続き、「取引推進上の情報発信を行っていない」との回答は19%であった。



情報発信媒体に期待する効果の実現状況についての質問では、「どちらともいえない」との回答が45%と最も多く、「おおむね実現している」という回答の29%を上回る結果となった。「あまり実現していない」、「実現していない」との回答は合わせて25%となり、「期待以上に実現している」という回答は1%という結果となった。

〈にっしん〉からのお知らせ

〈イベント関連〉

「にっしん輝きメッセ2016」を開催します！

昨年に引き続き、西日本最大規模のビジネスマッチングフェア「国際フロンティア産業メッセ」と同時開催で、「にっしん輝きメッセ2016」を開催します。

今年度も17社の当庫お取引先様がブース出展し、自社技術や製品のPRを行います！

- 会 期：平成28年9月8日(木)・9日(金) 10:00～17:00
- 会 場：神戸国際会館展示場1・2号館(神戸ポートアイランド)
※今年度のブース出展の受付は終了しています。

「明石公園リレーマラソン」に協賛します！

平成24年より当庫が特別協賛している「明石公園リレーマラソン」が、今年も明石公園陸上競技場で開催されます。ご家族、お友達同士、学校や会社の仲間など、チームを作って参加してみませんか？

- 開 催 日：平成28年11月12日(土)
- 開催種目：リレーマラソン、親子マラソン
- 会 場：明石公園陸上競技場

詳細はJTBスポーツステーションホームページ <https://jtbSports.jp/> をご覧ください。

「平成28年度国内旅行」を実施します！

年金受給者様へのサービスとおお客様とのより一層の親交を図るため、今秋、国内旅行を実施します。詳細はお取引店までお問合せください。

- 実 施 日：日帰り旅行コース(京都) 平成28年10月18日(火)、20日(木)、21日(金)
一泊二日コース 平成28年11月15日(火)～16日(水)
(高野山、白浜温泉) 平成28年11月16日(水)～17日(木)
平成28年11月17日(木)～18日(金)

〈商品関連〉

キャンペーン商品としてお取扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★ スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのおお客様対象)
- ★ スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたおお客様対象)
- ★ 子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるおお客様対象)
- ★ 地域おうえん定期預金「明石子育て応援定期預金」(明石市内10店舗限定取扱)

など




このたびは、第1回中小企業景況調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで